

第2回「埴町地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時 平成 22 年8月26日(木)午後 1 時 30 分

場所 埴町勤労福祉会館 2 階小研修室

出席 21 名、欠席 4 名(別添名簿参照)

1. 開会

2. 委嘱状の交付

新委員 8 名に委嘱状を交付した

3. 会長あいさつ

4. 議事

(1) 報告事項

- ① 埴町地域公共交通活性化協議会委員の変更について
- ② 平成 22 年度地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画の認定について
- ③ 平成 22 年度地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金の交付決定について
- ④ 埴町地域公共交通総合連携計画策定支援業務委託について
- ⑤ 公共交通に関する町民アンケートの実施について

■報告事項に関する協議内容

- 鈴木委員) 計画、実施に数年かかるようであるが、その間に区長などの委員が変わる可能性があるのではないか。
- 河野会長) 本調査は町としても大きなプロジェクトのため期間を要する。実施の間にメンバーが変わる可能性もある。
- 平野委員) アンケート問 16 の「公共交通改善の重要度」については、回答者は皆、重要という回答となるのではないかと。
- 事務局) それぞれの項目で相対的に回答いただくかたちで傾向をつかみたい。同様の形式で調査を実施したケースでは、傾向が把握できる結果が得られた。
- 平野委員) 自動車を運転している人も将来、高齢のため運転できなくなる可能性もあり、バスに対する考え方も変わるのではないかと。免許を返上するような人もいる。このあたりをアンケートでは把握しないのか。
- 事務局) アンケートでは問 17 にて公共交通の今後のあり方を聞いているが、高齢者の自動車の運転に対する将来の意向などはヒアリング調査にて出来れば補いたい。
- 石川委員) 小中高生には意見を聞くことになるのか。
- 事務局) 直接、小中高生に聞くということは考えていないが、学校関係者や保護者に意見を聞くなどの方法を考えたい。
- 河野会長) 子供たちの移動手段は重視したい。小中学生はスクールバスを利用しているため、スクールバスについての改善などの話であるかと思う。学校関係者などに意見を聞く方法が良いのではないかと。

- 遠藤委員) 高齢者ドライバーは運転の危険性などもあり、将来運転しなくなったときバスが無いと不便になってしまう。家族は危険なので運転をやめて欲しいと思う一方、本人は不便になるので困るという例もある。老人会などの意見も聞いたほうが良いのではないかな。
- 事務局) アンケートで高齢者の意見も多く得られれば良いが、ヒアリングなどの方法は検討していきたい。
- 星委員) 障がい者の方の意見も聞くと良いのではないかな。
- 大竹委員) 町外から埴町に来る人のニーズ把握は必要ではないかな。多くの方に埴町に来ていただくために改善していくことも必要である。
- 事務局) まずは町民の方の交通手段の確保の視点として調査を行いたい。町外からは厚生病院への通院、高校への通学があることは資料で確認している。
- 宮地委員) 公共交通活性化・再生法の枠組みから言うと、他の町からの路線などへの補助金はない。広域に協議会を設置する必要がある出てくる。町で単独で実施する場合はこの限りではない。
- 河野会長) 厚生病院は広い地域の方が利用しており、埴町に来る方の視点も重要な点である。活性化・再生法の本取組みの別枠として検討していくことは構わないとのことである。

(2) 協議事項

- ① 埴町地域公共交通活性化協議会平成 22 年度補正予算(案)について
- ② 埴町地域公共交通総合連携計画策定スケジュールについて

■協議内容

- 荒井委員) バス利用者の立場から聞きたいが、福島交通がバスの IC カード化を進めているが、埴町は対象外と聞いている。対象とはならないのか。
- 阿部委員) IC カード形式の導入を進めていくことになるが、埴町の地域では IC カードではなくプリペイドカードを使用する形となる。ただし、全体として IC カードが使えるように本社には伝えている。
- 遠藤委員) ノンステップバスはどのくらい導入されているのか。
- 阿部委員) 車両の買い替えなどでノンステップバスは導入されているが、経費や運営の問題でノンステップバスではなく、既存のバスで対応している路線もある。小さいバスについては、山がちで入り組んでいる地域では適さないということや、朝夕の高校生利用が多い場合は乗り切れなくなってしまうなどの課題がある。

5. その他

■その他の協議内容

- 平野委員) JR バスは新白河から棚倉を結んでいるが、数便だけでも埴町を結ぶと多くの方が来るようになると思う。これまでそのような要望はあるのか。観光シーズンにテ

スト的に運行してはどうか。

河野会長) これまで特に聞いたことは無いが、検討することは必要かと思う。

阿部委員) 塙町のバス路線は日曜日に運行していないが、休日は買い物などどのようにされているのか疑問である。

鈴木委員) 高齢でバス停までいけないという人もいる。買い物のためにタクシー代として数千円払っている高齢者の方もいる。

河野会長) アンケートなどで把握しながら、また皆さんの意見を計画に反映していきたい。

6. 閉会